

熊本 卓哉¹

¹広島大院医歯薬保健

国際連合により制定された持続可能な開発目標（SDGs）の「3. すべての人に健康と福祉を」では、「すべての人々に対する（中略）安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」ことを目指している。予防接種はこれまで、多くの疾病の流行の防止に大きな成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど、感染症対策上重要な役割を果たしてきた。このためには、疫学調査、社会制度の整備、投資、技術革新、国際連携などのいずれもが不可欠な要素である。

国際薬学連合（FIP）は、薬剤師が一般の人々に最も近い医療従事者として、ワクチンの接種などを含む、個人や地域社会を対象とした医療や健康増進・病気の予防に貢献することを奨励している。いくつかの国では薬剤師によるワクチン投与が認められており、FIP はその現状について調査し、その結果を Global report にまとめている。本フォーラムでは、ワクチンが予防に果たしてきた役割、ワクチン開発の経緯とその展望について総括し、ウイルスベクタープラットフォームを基盤としたベクターを利用した新規マラリアワクチンと、インフルエンザウイルスの経鼻投与型ワクチンの研究開発についての報告のうち、ワクチン投与に関わる世界の薬剤師と地域薬局の現状とこれに関わる FIP の活動について紹介する。